

令和5年度（2023）公益信託鉄道保線振興基金顕彰者表彰式が開催されました

公益信託鉄道保線振興基金（保線ノーベル賞）の令和5年度（2023年度）の表彰式・祝賀会が3月21日（木）に東京ステーションホテルで執り行われ、令和5年度の顕彰者として5名の方が授賞の栄に浴されました。いずれの方も現在および過去において当協会の普通会员及び特別会員の会社に所属されていた皆様です。心からお慶び申し上げます。

同賞は、保線技術の維持と発展に多くの功績を残すとともに、今もなおその技術を保線分野で発揮されている技術者に贈られています。平成4年（1992年）6月に運輸大臣（当時）の認可を得て基金が設立され、平成5年度（1993年度）から表彰が続けられていますが、これまでに114名の方がこの栄に浴されています。

鉄道保線振興基金表彰受賞者



前列左から後藤利幸氏、運営委員長舛形勝氏、村上卓夫氏、後列左から倉津次郎氏、荒木誠氏、小椋強氏